

平成29年度 関東学連 各種申請書について

平成22年度より、関東学連の登録、及び大会申込には「エントリーシステム」
(<http://www.kanto-sttf.com/login>)を使用していますが、これを補完する各種申請書を設けます。

運用方法

- ・ 関東学連公式HP (<http://kanto-sttf.jp/index.html>) 上にある各種申請書のファイルを開く。
- ・ 「ファイル」→「名前をつけて保存」で各自のパソコンに保存し、使用する。
(HP上のファイルのままでは書き込めない)
- ・ 必要なシートに必要な事項を入力する。3桁のチームコードを使用すると便利です。
- ・ 印刷後、学連事務所にFAX (またはスキャンなどをしてメール添付送信) する。
FAXの場合は、送信面、裏表に注意の事。(FAX番号=03-3496-9668)
メールアドレス= japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp

種別

- 「チームコード表」
この補助システムで使用するコード表。本年度のそのチームの強さを表すランク表を兼ねる。
(1年間変わらないので、今春の編成時の強さのランク)
- 「パスワード確認申請書」
「エントリーシステム」のパスワード忘れなどの際に、電話での問い合わせだけでなく、
あとに証拠が残らないと、なりすまし犯罪などの原因にもなる。
「連絡先を聞いて、学連側から折り返し連絡してパスワードを伝える」ための書類。
- 「登録抹消申請書」
「エントリーシステム」の削除機能を使うと、「登録していた実績」も消えてしまうため、
あとから「登録人数などが合わない」「試合に出場していた選手の情報が不明」など、
トラブルの原因となる。
「エントリーシステムの削除機能は誤入力時のみ使用。
意図的な登録抹消(クラブチームや同好会への移籍など)は、本申請書を使う。
- オープン大会への混成チームによる団体戦出場申請書
(登録などのシステムとは関係ない)
オープン大会に他所属チームの選手と混成チームを編成して出場する場合の
申請書。
- 「最終学年選手・別チーム名・大会出場申請書」
(登録などのシステムとは関係ない)
最終登録年度(4年制大学の4年生、短大の2年生など)が、卒業直前の1月から
3月の間に、本来の所属大学以外のチーム名で試合出場を希望する場合の
申請書。
- 以下、(公財)日本卓球協会関連
(登録などのシステムとは関係ない。
学生卓球連盟が作成したものではなく、日本卓球協会が作成したもの)
- 「国際交流届」
海外に渡航して国際交流を行なう際は、1ヶ月前をメドに、「学連」と「都道府県卓協」の2箇所に
メール添付の形式で、この届を提出する。
- 「全日本選手権・予選会申請書」
現在所属している都道府県でなく、卒業高校の都道府県から全日本選手権・予選に出場を
希望する場合の申請書。